

ICF普及・活用に向けたイメージ図



※比較的取り組みやすい心身機能・身体構造の領域から開始する。
※医療的側面だけでなく、活動、参加、環境因子等の側面にも配慮して進める。

具体的取組

(例)

- これまでの関連施策、研究等の確認
- 特定の疾患を念頭においた簡易版作り

現状・課題

(例)

- 「ICF」の概念は共感を得て、理解されているが、項目はあまり活用されていない
- 多様な視点を含む分類で、簡便でなく使いづらい。
- 様々な医療現場ですでにICF以外の評価指標が利用されている。
- 教育

次のステップ

(例)

- 簡易版を用いた有用性確認のための一次的活用
- 簡易版の多様な疾患・状況への展開

(例)

普及・活用

